

都城市総合防災訓練が庄内地区でありました・・・令和元年11月17日(日)

11月17日(日)都城市総合防災訓練が庄内地区で行われ、多くの住民が参加しました。訓練想定は「南海トラフ～日向灘沖を震源とする『震度6弱』の地震」です。午前7時30分消防サイレンの合図で、それぞれの自治公民館(10館)ごとに訓練を開始しました。各家庭ではまず自分の身を守る行動をしました。そのあと自治公民館の班長さんは電話や、訪問しての確認など決められた手順で館員の安否確認を行いました。近くの一時的避難所や自治公民館に避難訓練をしたところもありました。班長さんは各自自治公民館長に結果を報告し、自治公民館単位で人員と家屋の被害状況を集約しました。

庄内地区公民館には庄内地区防災訓練本部が置かれ、まち協役員や、庄内地区市民センター所長・副所長、庄内地区公民館長、都城市消防団関係者、庄内分団長・副分団長、民児協会長などが集まり、また各自自治公民館から連絡員として副館長など10名が詰め、各自自治公民館の情報収集に当たりました。10時までは庄内地区公民館加入全世帯(1,975世帯)の安否確認が終わりました。

庄内小学校体育館・教室・グラウンド、庄内地区体育館では関係機関「陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎河川国道事務所、宮崎地方気象台、九州農政局宮崎県拠点、宮崎県北諸県農林振興局、宮崎県都城警察署、宮崎県看護協会、日赤都城市地区、西日本電信電話株式会社、西日本高速道路株式会社、九州電力株式会社、アマチュア無線都城クラブ、防災士ネットワーク都城支部、都城市消防局」による体験訓練や展示などがあり、庄内中学校生徒179名や地区住民80名が参加、多くの住民も見学しました。

ボランティアセンター開設訓練は庄内地区社協とボランティア協議会が行い、中学生30名のボランティアが登録、炊き出しの訓練に行くよう指示しました。炊き出しは赤十字奉仕団庄内分団と食生活改善推進員が中学生と共に約600食のハイゼックス米を作り、自衛隊提供のカレーと共に参加者に提供しました。

また初期消火訓練として中学生30名が参加、火災に見立てた焚火に向かってバケツで水を運び消火訓練をしました。地元の消防団が指導しました。

消防団(28部)はエンジンカッターを使った救出訓練も行いました。鋼管やコンパネで作られた模擬家屋で救助訓練を行い、ダミーの負傷者が救出されると拍手が起きていました。

最後の閉会式ではまちづくり協議会の釘村会長が「まず『自助』で自分の身を守る事が大事、次に『共助』だが、組織力がなくてはうまくいかない。幸い庄内地区は各組織がしっかりしているので、今後も訓練を重ねていざという時に備えたい」との話がありました。

第25回庄内川一周YOU遊駅伝大会を開催しました・・・令和元年12月1日(日)

雨の心配をしておりましたが、幸い朝から晴れて絶好の駅伝日和になりました。(夕方から雨が降りました。)

今年は自治公民館10チームとマイペースの部に4チーム計14チームが出場し、熱戦を繰り広げました。関之尾自治公民館は選手制限が一部区間で満たせなかったため、マイペースの部の参加となりました。

また沿道からの応援ではいろいろなパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりおりました。応援ありがとうございました。結果は以下の通りです。タイムレースの部東区は3連覇!です。

タイムレースの部

優勝 東区 1時間02分52秒

準優勝 乙房B 1時間06分31秒

3位 乙房A 1時間07分57秒

マイペースの部(申告タイムと実際のタイムの差を競う)

1位 関之尾 0分42秒

2位 乙房B 1分01秒

3位 白寿園 1分29秒

応援賞には関之尾自治公民館が選ばれました。



庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町12692番地 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <http://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなで作る 住みよいまち 庄内 庄内地区まちづくり協議会だより

令和2年1月発行 VOL.20



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様には令和初めての輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2019年も災害の多い年でした。8月の九州北部豪雨に続き、9月の台風15号は関東地方に上陸し、大規模な停電など多くの被害が発生しました。10月の台風19号では、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、阿武隈川や千曲川の堤防が決壊するなどし、死者行方不明者102名という甚大な被害をもたらしました。

庄内地区でも防災訓練の必要性を感じていたところ、11月17日(日)都城市総合防災訓練が庄内地区で行われ、多くの住民が参加しました。全自治公民館が参加しての訓練は都城市でも初めてのことで準備等大変でしたが、庄内中全生徒や多くの皆様の協力で大変実りのある訓練となりました。

庄内地区三大イベント(第20回庄内地区スポ・レク大会、第34回庄内ふるさと祭り、第25回庄内川一周YOU遊駅伝大会)は予定通り実施することができました。第4回スカットボール大会は9月1日に実施し37チームが熱戦を繰りひろげました。庄内地区の四大イベントとなりつつあります。

平成28年11月17日から運行して参りました市民協働型コミュニティバス「庄内ふれあい号」は満3年を経過し、順調に利用者が増えております。昨年10月17日に運行開始からの乗客数が1万人を達成しました。今年はさらに利便性を考えたダイヤ改正を行う予定です。

さて、昨年は住民待望の庄内地区公民館の建て替えが始まり、仮設公民館への引っ越し、解体工事を経て、すでに建設工事に入っております。今年中には完成し利用できるようになります。使い勝手の良い、みんなが集まりやすい公民館となるよう期待しております。

今年一年が皆様にとりまして幸多く、実りある年となりますようご祈念申しあげまして新年のご挨拶と致します。

令和2年元旦

庄内地区まちづくり協議会 会長 釘村 美千也

庄内地区小中学校教職員の史跡めぐり研修会を行いました・・・令和元年8月2日(金)

庄内地区まちづくり協議会教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催し庄内小、乙房小、葉子野小、庄内中教職員など19名を対象に、地区内の関之尾滝および史跡・寺社などを巡る研修会を開催しました。今年度新しく庄内地区小中学校に転任された先生方に、地域を知って頂くため実施しているものです。朝から天気が良く気温も高い中、庄内小学校に集合しました。まず庄内の昔を語る会の七年礼純一さんのガイドにより、お軍神の三島通庸遺徳の碑や、三原叢五顕彰碑、その他の記念碑についての説明がありました。次に釣こ院跡に徒歩で移動、都城島津家の墓石群の説明がありました。

その後マイクロバスで関之尾滝に移動、関之尾むかえびとの会の花原恵子さんと佐々原幸子さんの説明を受けながら歩きました。関之尾滝はちょっと涼しく、特に吊り橋ではマイナスイオンを感じることができました。

関之尾滝のあとは平田かくれ念仏洞跡を見学、諏訪神社でも説明を受け願心寺に移動、本堂や書院を見学しました。大河内住職から願心寺の成り立ちなど詳しいお話を聞くことができました。平成30年に国の登録有形文化財となった旧持永家住宅門及び石堀、旧持永家住宅隠居棟、種田山頭火の句碑を車窓から見ながら最後に山久院跡及び豊幡神社を見学しました。12時前に庄内小に到着解散しました。



第4回庄内地区スカットボール大会を実施しました・令和元年9月1日(日)

第4回庄内地区スカットボール大会を開催しました。各自治公民館から数チームずつ合計37チーム(5人で1チーム)の参加がありました。8時半開会式のあと、9つのパートに分かれて試合開始、まずパートごとのリーグ戦をしました。総当たり方式でそれぞれ1~4位(一部6位まで)を決定しました。

次は1~4位のグループに分け、トーナメント方式でそれぞれ優勝、準優勝を決定しました。暑さはそれほどでもなく、日頃の練習の成果を大いに発揮し、真剣にかつ楽しく戦っていました。

表彰式ではそれぞれのグループの優勝・準優勝に賞品が渡されました。また90歳以上の参加者5名の方にも特別賞が渡されました。



第4回庄内地区スカットボール大会成績

- 1位グループ優勝：上平田A、準優勝：乙房C
- 2位グループ優勝：今屋A、準優勝：関之尾B
- 3位グループ優勝：川崎B、準優勝：川崎D
- 4位グループ優勝：今屋C、準優勝：今屋F

「宮崎ひなた生活圏づくり」地域ワークショップを開催しました・令和元年9月5日~

本年5月に宮崎県より「宮崎ひなた生活圏づくり」地域ワークショップ実施地域の募集があり、都城市を通じて応募したところ、県内で庄内地区を含む3地域が選ばれました。

このワークショップは5回開催され、最初の2回で10年後、20年後の地域の人口予測や、地域の産業分析、移住者が増えたら人口がどのように変化するかなど、「ひなたまちづくり応援シート」により説明されます。後半では庄内地区で現在起きている問題や、将来起こりうる課題について考えます。最後に庄内地区を今後も住みよい地域として維持するために、取り組むべき事項をまとめていく予定です。

9月5日(木)は庄内地区住民43名と宮崎県・都城市・ワークショップ指導・運営企業(日向市アップス様)の皆さんで第1回目を開催しました。住民は5つの班に分かれ、まず自己紹介から始まりました。

ワークショップ進行の山下さんから、庄内地区に関する5つのクイズが出され班ごとに答えを決めていきました。次に二人一組になって、10年前に比べてどういった変化があったか?現在どういった課題があるかを考えて付箋に書き、班全員で読み上げながら模造紙の項目ごとに貼り付けました。

先ほどのクイズの答え合わせを兼ねて「ひなたまちづくり応援シート」により庄内地区の10年間の変化を確認しました。地区全体の分析に加え、乙房町・関之尾町・庄内町・菓子野町別の説明もあり、皆さん自分の町の変化に興味深く見ておられました。

また、将来予測シートにより現状のまま推移すると2035年には人口や、子どもの数、高齢者の数がどうなるか説明がありました。庄内地区全体では2035年には5,746人と、2015年から1,683人減る予測となっています。

将来予測を踏まえたうえで、先ほど書いた付箋の状況がさらに2035年にはどうなっているか予測し、別の付箋に書いて項目ごとに貼り付けました。最後に山下さんより各班の結果のまとめがあり終了しました。皆さんの真剣に討議される姿が印象に残りました。



第20回庄内地区スポ・レク大会が開催されました・令和元年10月6日(日)

すばらしい秋晴れのもと、「第20回庄内地区スポ・レク大会」が開催されました。庄内地区市民広場をスタートし、庄内川堤防の左岸を歩き、引土橋を渡り次は右岸を庄内橋まで歩き、帰ってく

る約5キロのコースに146名の方が参加しました。

熱中症が心配なく強い日差しでしたが、歩き始めると心地よい風があり、うろこ雲が日差しを弱めてくれました。まだ稲刈りは一部の田んぼしか済んでいませんでしたが、それぞれ景色を楽しみながら1時間10分~1時間30分でゴールしました。堤防は去る9月28日に環境整備部会の呼びかけで草刈りを実施していましたので気持ちよく歩けました。

「庄内ふれあい号」の乗客数が1万人を達成しました・令和元年10月17日(木)

庄内地区まちづくり協議会が運行している市民協働型コミュニティバス「庄内ふれあい号」は、平成28年11月17日に1台で運行を開始しました。平成29年4月からは2台体制となり、週に4日4路線を運行しています。

利用者は高齢の方が多く、買い物や温泉(かかしの里ゆぼっぼ)など、喜んで乗って頂いております。乗客数は28年度990人、29年度3,161人、30年度3,630人、令和元年度(10月16日まで)2,216人と合計9,997人になり、17日めでたく1万人を達成しました。

1万人目は3人連れで乗車されましたので、代表して新地ミチさんに庄内地区まちづくり協議会の釘村美千也会長から記念品を贈呈しました。また都城ほんち地域振興株式会社より「かかしの里ゆぼっぼ」の利用券を提供して頂きましたので、当日の乗客全員にお渡ししました。

第34回庄内ふるさと祭りを開催しました・令和元年11月2日(土)~3日(日)

第34回庄内ふるさと祭りステージイベントの部は11月3日(日)庄内地区体育館で開催されました。午前の部は庄内中学校吹奏楽のオープニング演奏で始まりました。県大会で金賞を受賞されたそうので、素晴らしい演奏を楽しみました。開会行事のあとは、地区の保育園・こども園・幼稚園の発表や、各小学校の民俗芸能の発表がありました。お昼頃庄内地区小学校3校(庄内小、乙房小、菓子野小)による「3校対抗長縄跳び」があり、各小学校から多くの児童が参加しました。

長縄跳びの結果 優勝：庄内小、準優勝：乙房小、3位：菓子野小



午後の部は恒例となった第6回公民館対抗歌合戦を行い各自治公民館の応援で盛り上がりました。公民館対抗歌合戦の審査結果は以下の通りです。

公民館対抗の部

- 優勝 川崎自治公民館
- 準優勝 西区自治公民館
- 3位 東区自治公民館

個人の部

- 優勝 佐藤由太郎さん(東区)
- 準優勝 中満愛美さん(関之尾)
- 三位 花原由香さん(川崎)

特別賞の部

- 審査委員長賞 大村幹太さん(川崎)
- パフォーマンス賞 中村恵・竹松直子さん(西区)
- ベストドレッサー賞 関雅代さん(西区)
- まちづくり協議会会長賞 宮島茜さん(宮島)
- ふるさと祭り実行委員長賞 長友良通さん(千草)
- 自公連会長賞 園田良雄さん(東区)



庄内地区ボランティア連絡協議会は11月2日(土)庄内地区体育館でバザーを開催しました。天候も良く、各自治公民館のみならずから頂いた2,709点の品物を体育館いっぱい並べ、10時の開始とともに多くの方が入場、お目当ての品物を手にされていました。入場者は約500名、330,720円の売り上げがありました。ご協力ありがとうございました。

また作品展示の部は庄内小学校体育館で11月2日(土)~11月3日(日)開催されました。23の団体と7人の個人が沢山の作品を展示しました。来場者は889人でした。